

史学委員会

歴史資料の保存・管理と公開に関する分科会（第25期・第1回）

議事要旨

1. 会議名 歴史資料の保存・管理と公開に関する分科会（第25期・第1回）
2. 日時 令和2年（2020）12月19日（土）17時45分～19時45分
3. 会場 オンライン（Zoomミーティングを利用）
4. 出席委員 石居人也、大友一雄、大橋幸泰、奥村弘、長志珠絵、倉員正江、栗田禎子、久留島典子、佐野正博、高埜利彦、芳賀満、柳原敏昭、若尾政希（以上、13名）

5. 議題

（1）委員の確定及び分科会役員決定

若尾委員（世話人）の進行により、今期の分科会委員より自己紹介を行った。

続けて、分科会役員を選考すべく議論を開始した。現在、任命許否されている会員候補の方が会員に任命された際に、再度決め直すことを確認して、次の方々を役員に選んだ。

委員長 若尾政希

副委員長 大友一雄

幹事 2名 奥村弘 ・ 柳原敏昭

追加委員及び、特任連携会員等については、今期の審議の重点課題に即して、必要に応じて委嘱することにした。

（2）報告「日本学術会議資料の保存・管理と公開に向けて」のフォローアップについて

第24期の分科会の若尾委員長より、第24期の期末、2019年9月8日に本分科会が発出した「日本学術会議資料の保存・管理と公開に向けて」<

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/kohyo-24-h200908-1-abstract.html>>

について、説明があった。幹事会の最終審査（8月13日、出席者：若尾政希、高埜利彦）では、日本学術会議資料の保全に幹事会が責任をもつべきだということにまで及び、事務局で日本学術会議資料の保存と管理についての方針を今期中にとりまとめることになった旨、報告があった。

（3）第25期分科会の重点課題について

本分科会の設置目的を確認し、また本日のシンポジウムでの議論を踏まえて、今期の分科会で、次の審議事項のどれを重点的に議論するか、意見交換を行った。

1. アーカイブズ制度の改善に向けて
2. 私文書の保存・管理をめぐって
3. 被災資料の救済・保全をめぐって
4. 日本学術会議資料の保存・管理・公開に関して
5. その他

本分科会単独でできること、他の分科会と連携してできることがあり、本分科会内での議論を進める一方で、他分科会との連携も進めることにした。

（4）その他

次回の分科会は、2021年3月に開催（予定）。奥村弘委員より、史料救済活動の現状と課題に関する報告をいただき、議論することにした。